

# がん検診拡大・プレミア付商品券第3弾実現 町工場の誇り支える政治に転換

**日本共産党**

## 大田区議団

### ニュース

日本共産党大田区議団  
大田区蒲田5-13-14  
Tel 03-5744-1477  
FAX 03-3730-3447

ご意見・ご要望をお寄せ下さい



下請け・中小企業懇談会（産業プラザ）

「日本の宝」町工場の灯を消すな  
下請・中小企業懇談会

5月26日、日本共産党は約4000もの町工場が集まる全国有数の「ものづくり」の町大田区で「下請・中小企業懇談会」を開き、町工場経営者など350人余が参加しました。

党区議団は、懇談会に先立って、町工場の実態をつかみ、懇談会の案内もしながら、地域の方々と2300社を越える工場を訪問。どこに行っても「仕事がほしい、仕事さえあればこの不況を乗り越えられる、東南アジアに発注しないで区内に仕事を」等が語られました。大田のものづくりを守る、まさに正念場であることを実感しました。

### 会派別正副委員長数

会派名	自民	公明	共産	民主
議員数	17	12	7	6
委員長	6	3	0	1
副委員長	4	4	0	2
合計	10	7	0	3

※正副委員長数は常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の合計です

ところが、5月25日行われた臨時会で、今年度も議会役職から区議会第3党の日本共産党区議団を排除し、2007年の区議会選挙後から4年目になります。

特定の議員、会派を議会

### 民主主義かみにじる 議会役職から日本共産党を排除

大田区議会は、例年5月の臨時議会で、議長、副議長、各委員会の正副委員長などの議会役職を選出していますが、長い間、区議会では、区議会議員選挙で示された区民の意思を反映させるために、各会派の議席数に応じて議会役職を選出してきました。

「役職を排除されることは住民を無視することになります。住民の声の大きさ（議席数）に応じて配分することが民主主義ではないでしょうか」「自民党ですが、この件については1票の重さとして、会派の数として当然割り当てるべき」などの声が寄せられています。

尚、臨時会では、議長に高瀬三徳議員（自民）、副議長には渡部登志雄議員（公明）、監査委員には溝口誠議員（公明）を賛成多数で選出しました。

区民のみならずからも「役職を排除されることは住民を無視することになります。住民の声の大きさ（議席数）に応じて配分することが民主主義ではないでしょうか」「自民党ですが、この件については1票の重さとして、会派の数として当然割り当てるべき」などの声が寄せられています。

党区議団は、後継者育成支援など懇談会でも出された意見・要望の実現めざし、第2回定例会でがんばる決意です。



## 区政とくらしの相談はお気軽に

<p>〒143 0016 大田区大森北5-1-5 電話 三三九八-六三六二</p> <p><b>佐藤伸</b></p> <p>地域・産業委員 開発・観光対策 特別委員</p>	<p>〒144 0033 大田区東糀谷1-13-2-501 電話 三三五五-六三七一</p> <p><b>清水菊美</b></p> <p>都市・環境委員 羽田空港対策 特別委員</p>	<p>〒143 0015 大田区大森西5-6-11 電話 三三七八-五八四四</p> <p><b>菅谷郁恵</b></p> <p>総務財政委員 羽田空港対策 特別委員</p>	<p>〒146 0095 大田区多摩川2-24-62-2-209 電話 三三五九-六五七九</p> <p><b>和田正子</b></p> <p>区議団副幹事長 こども文教委員 交通問題調査 特別委員</p>	<p>〒144 0056 大田区西六郷2-1-1 電話 五七一-〇三三〇</p> <p><b>金子悦子</b></p> <p>区議団副団長 保健福祉委員 防災・安全対策 特別委員</p>	<p>〒146 0094 大田区東矢口3-11-19 電話 三三三六-四二〇二</p> <p><b>大竹辰治</b></p> <p>区議団幹事長 議会運営委員 総務財政委員 開発・観光対策 特別委員</p>	<p>〒144 0034 大田区西糀谷4-21-17 電話 三三四二-二九三六</p> <p><b>藤原幸雄</b></p> <p>党区議団長 保健福祉委員 交通問題調査 特別委員</p>
---	--	---	---	---	---	--

### 日本共産党大田区議団の役職

### 区議会第二回定例会

6月4日から始まった区議会第二回定例会で、補正予算が出され採択される見込みです。

○女性特有のがん（子宮がん、乳がん）の検診の受診拡大 1億4954万円。

○プレミアム付区内共通商品券発行助成（第3弾）実施 プレミア分5000万円

# 京浜急行電鉄は新エアポート快特を京急蒲田駅に停めよ

京浜急行連続立体高架化は、交通渋滞解消・街の活性化をめざし事業が進められ、完成時には事業費総額一六五〇億円、京浜急行電鉄の負担は三三〇億円、残りは国税六六〇億円、都税四六〇億円、区税二〇〇億円の税金を投入する大型の公共事業です。



→右図 連続立体事業で上り線が高架に↑上図 京急蒲田駅通過反対区民大会

5月16日から京急線は上りだけ高架化されました。待ちかねていた大田区民に、京急蒲田駅に停まらない快特が1時間に3本あると知らされ、大きな怒りを呼んでいます。

5月15日に京急蒲田駅通過反対区民大会が開かれ、600名を超える区民・区内団体・大田区・大田区議会勢ぞろいし、京急電鉄に抗議する熱気あふれる集会となり、京急蒲田駅に「新エアポート快特」を停車させる決議を採択しました。ただちに代表団が京急電鉄本社に決議文を届けました。5月16日からの新ダイヤで、普通電車で羽田空港への利用者はかえって時間がかかるようになった等、

区民には不便になってしまふ問題も出てきました。公共交通として地域の足を確保し、区民の利便性と向上のため、区議団あげて奮闘します。

## 「小1、中1は学級規模縮小を」教育委員会へ要望

小学1年生がたち歩いて授業ができない、中学生になったことの変化に対応できず不登校になる子どもたちが増えていることに対して東京都は、今年から小1、中1で学級の定員数が39人となり、学級に応じた教員が配置されることになりました。

これは「ゆきとどいた教育を求める全国署名」や「東京で30人学級を求める署名」など地道に積み上げてきた父母・教職員・地域のみなさん、労組・民主団体の粘り強い取り組みの成果です。

東京都は、教員の配置は、学級規模の縮小か、チームティーチング（複数教員の配置）のどちらかでよいとしていました。ところが大田区は学級規模を縮小しないことにして、各小中学校に通達していました。区議団が調査をしたところ他市、他区は学級規模を縮小しています。



教育長に申し入れる党区議団

5月7日、区議団が教育長に対して申し入れた際、子どもの数が増えてきている学校では教室が足りなくなり不公平感が生まれる、決して子どもの数が少ないからよい授業ができていないわけではない理由を述べました。

区議団は、1、大田区でも学級規模を縮小すること、2、東京都に対して30人学級を実現するよう要望するとともに大田区独自で踏み出すこと

望するのと同時に大田区独自で踏み出すこと

## 町工場から喜ばれた全国初「ものづくり直接支援」の継続拡充を

党区議団は、長引く不況の大波は収まるどころか、中小製造業・下請け町工場では、仕事がなく廃業や倒産が相次ぎ、ものづくり集積の崩壊が進むなかで、町工場への補助直接支援（家賃・リース代助成・固定費助成）を国、都、区に求めました。昨年末には、中小業者のみなさんと危機突破大会を開き、世論と運動で全国初の直接支援の通知した機械のリース代助成の実現めざしががんばります。

また、国がリース協会に

## 区内の施設を視察調査 党区議団



「おおたっこひろば」を視察する党区議団

大田区議団は5月21日、区内の新しくできた施設や開発計画地を、調査視察しました。

「おおたっこ広場」は今年4月から旧区立幼稚園6カ所に開設され、新しくできたもので、児童と小学校の子どもたちの放課後事業、乳幼児親子事業が行われます。正規職員1人と非常勤職員7人が運営しますが、

多い時は100人以上の子どもたちが利用します。質の低下にならないようにしなければなりません。



羽田旭町の荏原製作所をヤマト運輸が購入し、工事が始まっています。後方に佐川急便の倉庫もあり、羽田空港24時間離発着にあわせ夜中も宅配便、物流のまちとして、騒音、振動、公害問題の発生が予想され、地域の環境、安全を守る取り組みが重要です。

東糞谷の防災公園は、鮫洲の試験計画などがあつたところです。地域住民の運動でみんなが憩える避難場所になりました。震災用ベンチ設置やバリアフリー対応の公園です。

民間の特別養護老人ホームは、利用料金が月15万円〜16万円でした。

大田区の特養ホーム待機者は1400人（うち緊急度高い人は250人）、特養ホームの建設は待ったなしです。低料金で入れる特養ホームの建設を大田区に要望しています。

そのほか、区民施設「大森こらぼ」「子育て支援センター」など視察しました。これらを見学して、区民の皆さんの大切な税金を区民の福祉暮らしに使うよう引き続きがんばります。